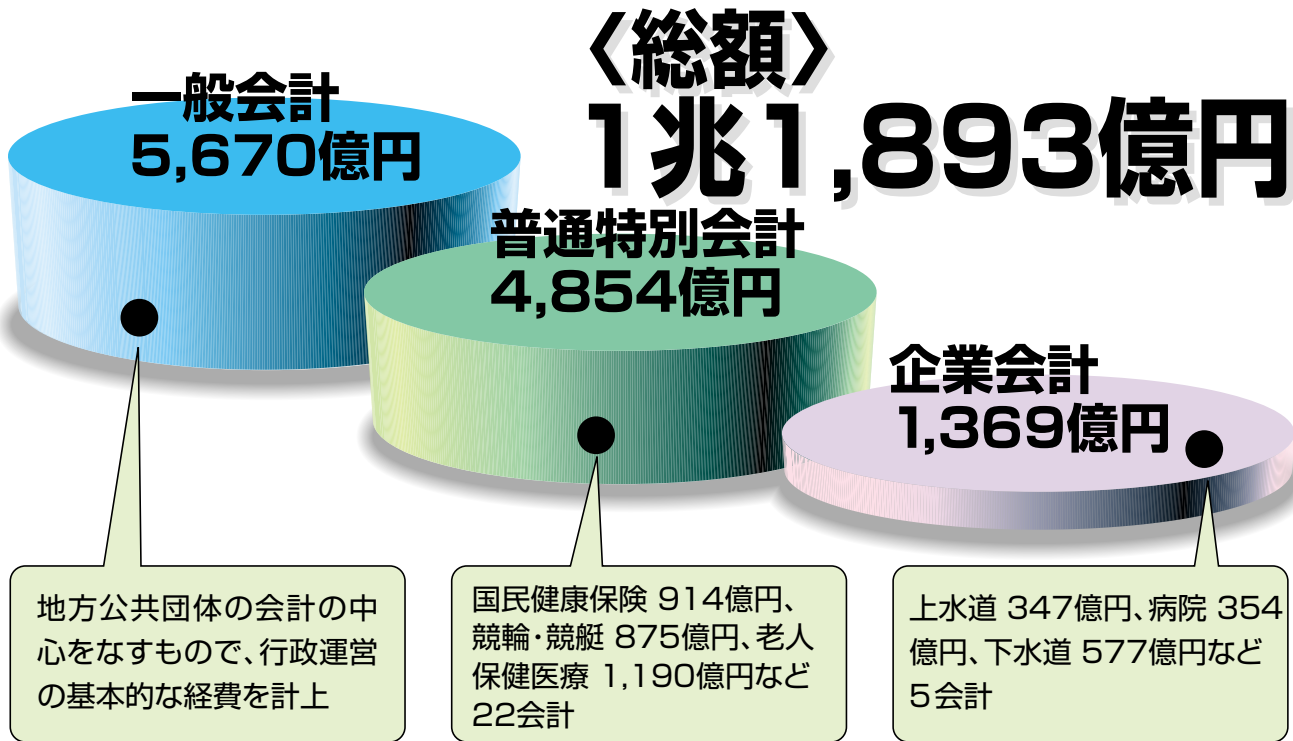




北九州市の予算について

1.平成13年度予算の概要

予算とは、1年間の収入と支出の見積りです。北九州市は住民に密接に関連する仕事を行っています。これらの仕事はすべて予算を通じて実施されており、言い換えれば、市の施策の内容は事実上予算によって決定されます。予算はこのように非常に重要なため、議会の議決を経て成立します。



■北九州市の予算は、一般会計・普通特別会計・企業会計の3つに区分されており、この3つを合わせることによって、市の行政の全体の概要が分かります。また、平成12年度から新たに介護保険特別会計が、普通特別会計に加わりました。

予算総額と前年度比較

(単位：億円)

区分	平成13年度 当初予算額 A	平成12年度 当初予算額 B	比較 (A-B) C	増減率 C/B
一般会計	5,670	5,697	△27	△0.5 %
普通特別会計	4,854	5,002	△148	△3.0
計	10,524	10,699	△175	△1.6
企業会計	1,369	1,332	37	2.8
合計	11,893	12,031	△138	△1.2

2.平成13年度当初予算の特徴

困難を乗り越え、市民とともに未来を切り開く充実予算

— 新たな飛躍を目指して —

平成13年度予算は、北九州市が直面している様々な困難を乗り越え、市民と共に未来を切り開き、新しく迎えた21世紀においても本市が着実に発展しつづけるよう、さらなる飛躍に向けた取り組みを多面的に展開していくこととし、次の5つの柱で整理しました。

●福祉・教育の充実

総合的な少子・高齢社会対策や医療・救急体制の充実などを図るとともに、ゆとりとうるおいのある教育環境の整備や文化・スポーツの振興に取り組みます。

- ・「少子社会対策推進計画（新子どもプラン）」の推進
- ・介護保険制度の円滑な運営の推進
- ・「障害者施策推進基本計画・実施計画」の推進
- ・市立病院の機能充実、整備
- ・「総合的な学習の時間」のモデル事業実施
- ・（仮称）自然史博物館・歴史博物館整備等

●学術・産業の振興

「学術研究都市」の充実や産学連携の推進、情報分野などにおける新規産業の創出・育成を図るとともに、情報化の推進に取り組みます。

- ・（仮称）早稲田大学大学院棟整備
- ・北九州市立大学（仮称）留学生会館整備
- ・（仮称）IT高度化センター整備
- ・（財）北九州市産業学術推進機構の設立
- ・（仮称）SoC設計センター整備
- ・北九州情報通信革新技術創造推進事業
- ・（仮称）北九州市IT推進アクション・プラン策定等

●景気対策の推進と雇用確保の促進

現下の厳しい経済情勢を踏まえ、地域商業対策や中小企業対策、雇用確保の促進などの緊急課題に取り組むとともに、観光・コンベンションの振興を図ります。

- ・中小企業に対する金融支援事業
- ・商店街支援事業
- ・緊急雇用対策事業
- ・「ジャパンエキスポ北九州博覧祭2001」開催事業等

●環境未来都市の創造

21世紀を環境の世紀と捉え、将来の世代と共有できる良好な環境を継承するため、本市がそのトップランナーとなるよう“環境未来都市づくり”を推進します。

- ・「資源リサイクル産業施設整備促進費補助金」の創設
- ・（仮称）エコタウンセンター整備
- ・ごみの資源化・減量化対策
- ・ダイオキシン類対策事業
- ・北九州イニシアティブ普及事業等

●未来を支える都市基盤の整備

物流基盤や交通ネットワークなどの整備を進めるとともに、市民生活に身近な環境の整備に取り組みます。

- ・響灘大水深港湾の整備
- ・新北九州空港の整備促進
- ・東九州自動車道整備促進
- ・新若戸道路整備
- ・市街地再開発事業
- ・生活道路等緊急整備事業
- ・市営住宅の整備
- ・（仮称）到津の森公園整備事業等

用語解説



●一般会計

教育・ごみ収集・生活保護など、市の基本的な事業に関する会計です。

●普通特別会計

特定の事業を行うため、一般会計と区別して処理するための会計で、企業会計以外のものをいいます。本市にはこのような特別会計が22会計あります。

●企業会計

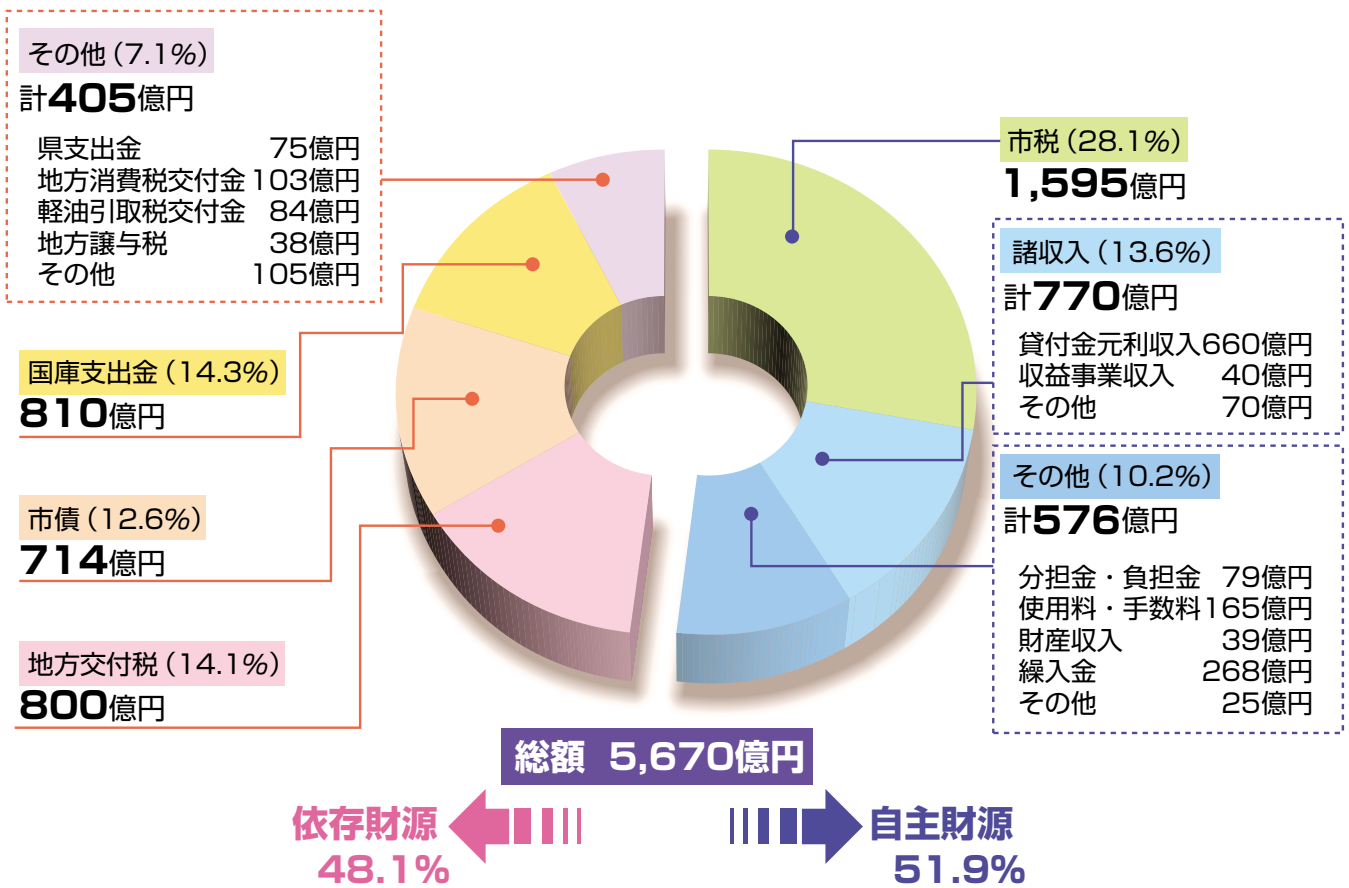
水道事業や病院事業など、企業的性格を持った事業を行う会計です。本市にはこのような企業会計が5会計あります。

北九州市の予算について

3.平成13年度一般会計予算の内訳

●歳入

■市民生活の向上のために様々な仕事(施策)が行われていますが、それを支えるには、財源が必要となります。財源には市民税や固定資産税などの**市税**、自治体の財政力に応じて交付される**地方交付税**、**国や県からの補助金**、借入金である**市債**などがあります。



Q 市の財政をわかりやすく家計に例えるとどうなるの？

市税は世帯主の給料に、地方債はローンなどに例えることができます。



●市の財政を、仮に家計に例えた場合、

①収入(歳入)については

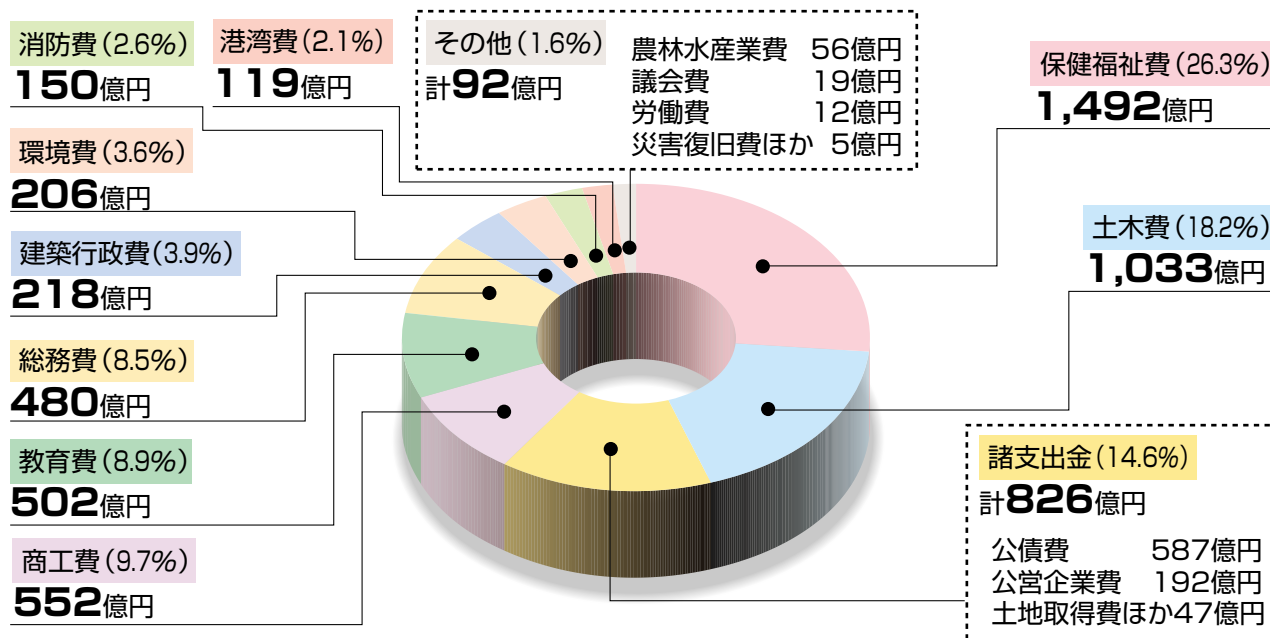
市の歳入の中心となる市税は家計では世帯主の給料に、地方交付税や国県からの補助金は親類からの仕送りや支援、地方債は車や家を購入した際の銀行からの借入金(ローン)、繰入金は預貯金の引き出しに例えることができます。

②支出(歳出)については

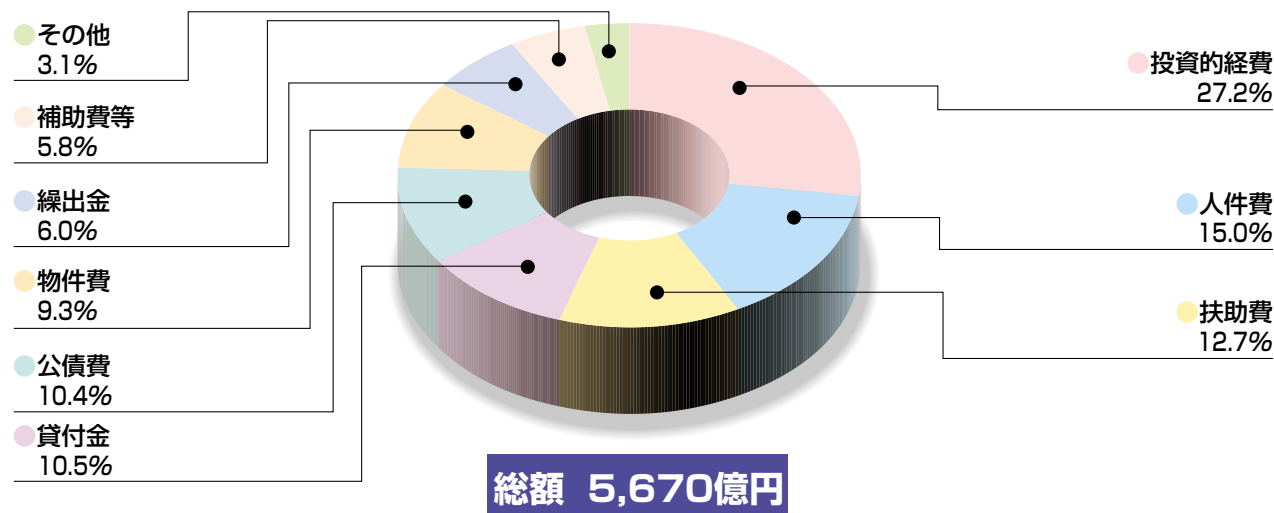
土木費などの投資的経費は、家を建築したり、車を購入する費用に、教育費は子供の学費や習い事の費用に、公債費は借入金(ローン)の返済費用に、また、扶助費は子供への仕送り等に例えることができます。

●歳 出

■歳出をその行政目的別に分類すると、本市の予算がどの分野にどれだけ配分されたかがわかります。



■歳出をその性質別に分類すると、本市の財政構造がわかります。



用語解説



- 扶助費 生活保護費や保育所などの運営費、医療費の援助や各種手当の支給などに要する経費です。
- 公債費 市債の元金、利子の支払いに要する経費です。人件費や扶助費とともに義務的経費と呼ばれ、その増加は財政の硬直化につながるため留意が必要です。
- 物件費 庁舎の光熱水費や、ペンや机などの用品・備品の購入費などで、行政事務を行う上で消費される経費です。
- 補助費等 公営企業や外郭団体、その他各種団体等に対する負担金や補助金などにかかる経費です。